



Keep the Lifeline.

ライフラインを、支える。

2022年3月期決算説明会資料



株式会社協和日成

2022年6月2日(木)

目次

| | | | |
|----|------------------------|-------|----|
| 1. | 2021年度（2022年3月期）決算について | | 2 |
| 2. | 新中期経営計画「STEP 2024」について | | 8 |
| 3. | 2022年度（2023年3月期）業績見通し | | 25 |
| 4. | ご参考資料 | | 30 |

1. 2021年度（2022年3月期） 決算について

Keep the Lifeline.

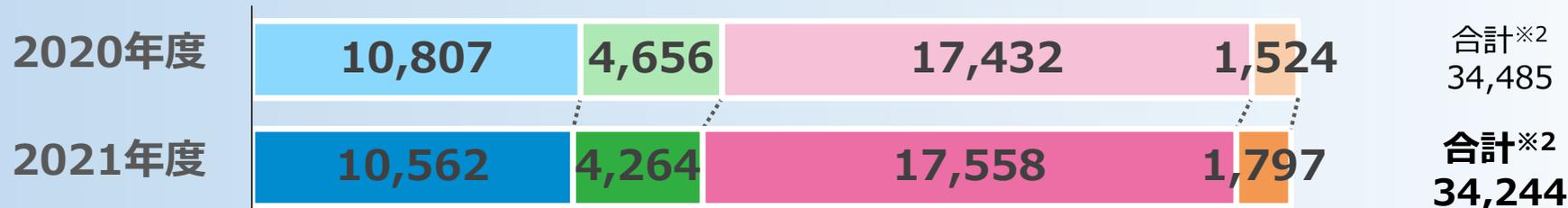
損益計算書（要約）

- 売上高の伸び悩みと原価率の上昇により前期比減益となったが、委託業務費等の経費抑制により期初予想を上回る利益を確保

| (百万円) | 2021年度 実績 | 2020年度 | 2020年度比 | | 2021年度 予想 | 予想比 | |
|-----------------|--------------|--------|---------|--------|--------------|------|--------|
| | | | (金額) | (%) | | (金額) | (%) |
| 売上高 | 34,244 | 34,485 | ▲241 | ▲0.7% | 34,670 | ▲426 | ▲1.2% |
| 営業利益 | 1,259 | 1,407 | ▲147 | ▲10.5% | 1,140 | +119 | +10.4% |
| 経常利益 | 1,403 | 1,588 | ▲185 | ▲11.7% | 1,280 | +123 | +9.6% |
| 当期純利益 | 1,078 | 1,739 | ▲661 | ▲38.0% | 890 | +188 | +21.1% |
| 【参考】 期初手持工事高 | 16,178 | 16,431 | ▲253 | ▲1.5% | - | - | - |

【セグメント別売上高】(百万円)

■ ガス設備※1
 ■ 建築設備
 ■ ガス導管※1
 ■ 電設・土木



※1) 組織変更により2020年度までガス設備へ含めていた静岡支店の売上高をガス導管へ組み替えております。参考までに2020年度の数字は組み替え後の数字にて表記しております

※2) 合計金額には外部顧客に対する鋼材販売手数料等の金額（2020年度65百万円、2021年度60百万円）を含めております

決算のポイント

売上高の増減

前期比▲241百万円

ガス設備事業

前期比▲245百万円

- 機器工事や戸建住宅における給排水衛生設備工事は堅調
- 2020年度の新築戸建住宅着工件数減少を受けて当期完成物件が減少

建築設備事業

前期比▲392百万円

- 集合住宅給湯・暖房工事は堅調
- リノベーション工事は回復
- 大型の工場施設関連の営繕工事が減少
- 新築建物に関連した給排水設備工事は、前々年度の受注控えにより当期完成物件は減少

ガス導管事業

前期比+126百万円

- 静岡ガス(株)、北海道ガス(株)の設備投資計画に伴う受注が引き続き堅調
- 東京ガス(株)からの受注は堅調も、当期完成物件が微減

電設・土木事業

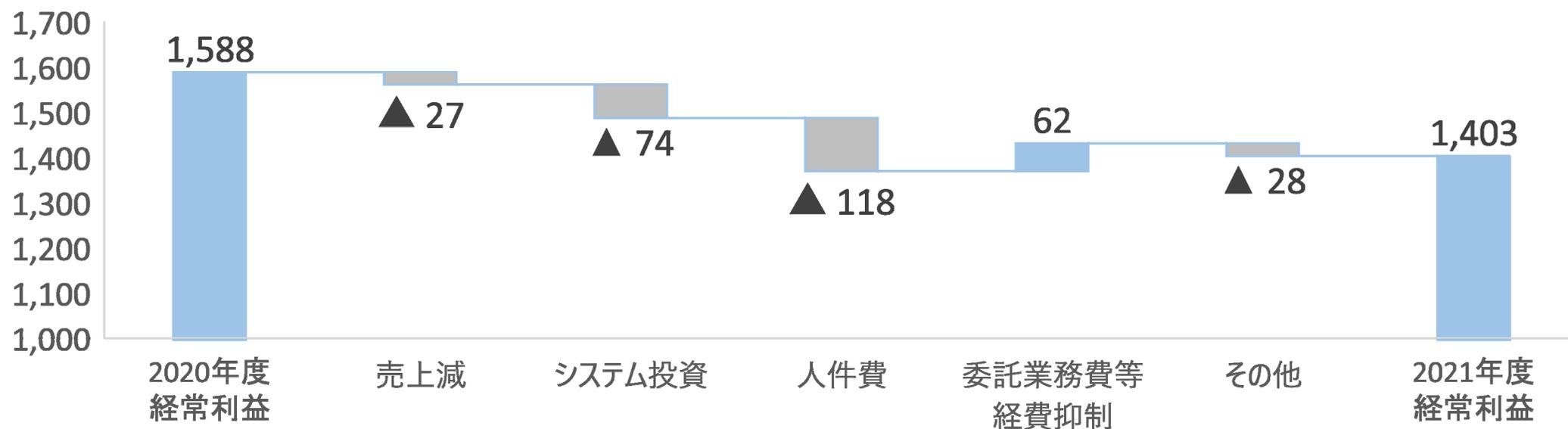
前期比+273百万円

- 東京電力パワーグリッド(株)における管路埋設工事の大型案件が完成
- ゴルフ場の集客改善を受け、イリゲーション工事も回復

決算のポイント

経常利益の増減

前期比▲185百万円



【主なポイント】

- ガス導管事業において新システムを導入
- 人員の増加による人件費の増加
- 委託業務費を初めとした工事に関する全般的な経費の抑制

貸借対照表（要約）

| (百万円) | 2020年度末 | 2021年度末 | 前期比 |
|-------------|---------|---------|------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 17,417 | 17,243 | ▲174 |
| 固定資産 | 8,688 | 9,013 | 324 |
| 有形固定資産 | 5,585 | 5,482 | ▲103 |
| 無形固定資産 | 27 | 27 | 0 |
| 投資その他の資産 | 3,076 | 3,503 | 427 |
| 資産合計 | 26,106 | 26,257 | 150 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 8,462 | 8,172 | ▲290 |
| 固定負債 | 749 | 467 | ▲282 |
| 負債合計 | 9,212 | 8,639 | ▲572 |
| 資産の部 | | | |
| 株主資本 | 16,403 | 17,134 | 731 |
| 評価・換算差額等 | 490 | 482 | ▲7 |
| 純資産合計 | 16,894 | 17,617 | 722 |
| 負債純資産合計 | 26,106 | 26,257 | 150 |

【主なポイント】

- 流動資産
 - 有価証券 ▲200百万円
 - 完成工事未収入金 ▲152百万円
 - 未成工事支出金 +141百万円
- 固定資産
 - 投資有価証券 +149百万円
 - 関係会社株式 +222百万円
 - 繰延税金資産 +93百万円
- 流動負債
 - 1年以内返済予定長期借入金 ▲140百万円
 - 未払法人税等 ▲384百万円
 - 未成工事受入金 +150百万円
 - 賞与引当金 +180百万円
- 固定負債
 - 長期借入金 ▲100百万円
 - 役員退職慰労金引当 ▲185百万円
- 純資産
 - 利益剰余金 +730百万円

キャッシュフローの状況

| (百万円) | 2020年度 | 2021年度 | 前期比 |
|-----------------|--------|--------|-------|
| 期首現金および現金同等物の残高 | 6,792 | 8,031 | 1,239 |
| 営業活動によるキャッシュフロー | 1,149 | 769 | ▲379 |
| 投資活動によるキャッシュフロー | 615 | ▲142 | ▲757 |
| 財務活動によるキャッシュフロー | ▲525 | ▲598 | ▲72 |
| 期末現金および現金同等物の残高 | 8,031 | 8,060 | 28 |

【主なポイント】

● 営業活動によるキャッシュフロー（前期比）

| | |
|-----------|-----------|
| 税引前当期純利益 | ▲1,013百万円 |
| 賞与引当金 | +289百万円 |
| 役員退職慰労引当金 | ▲266百万円 |
| 事業譲渡益 | +894百万円 |
| 売上債権・仕入債務 | +402百万円 |

● 投資活動によるキャッシュフロー（前期比）

| | |
|----------------|---------|
| 有価証券の売却による収入 | +199百万円 |
| 有形固定資産の取得による支出 | +248百万円 |
| 投資有価証券の取得による支出 | ▲300百万円 |
| 投資有価証券の売却による収入 | +144百万円 |
| 20年度事業譲渡による収入 | ▲790百万円 |
| 関係会社株式の取得による支出 | ▲222百万円 |

● 財務活動によるキャッシュフロー（前期比）

| | |
|---------|--------|
| 配当金の支払額 | ▲70百万円 |
|---------|--------|

2. 新中期経営計画「STEP 2024」について

<2022年度～2024年度>

Keep the Lifeline.

前中期経営計画の振り返り①

目標とする経営指標

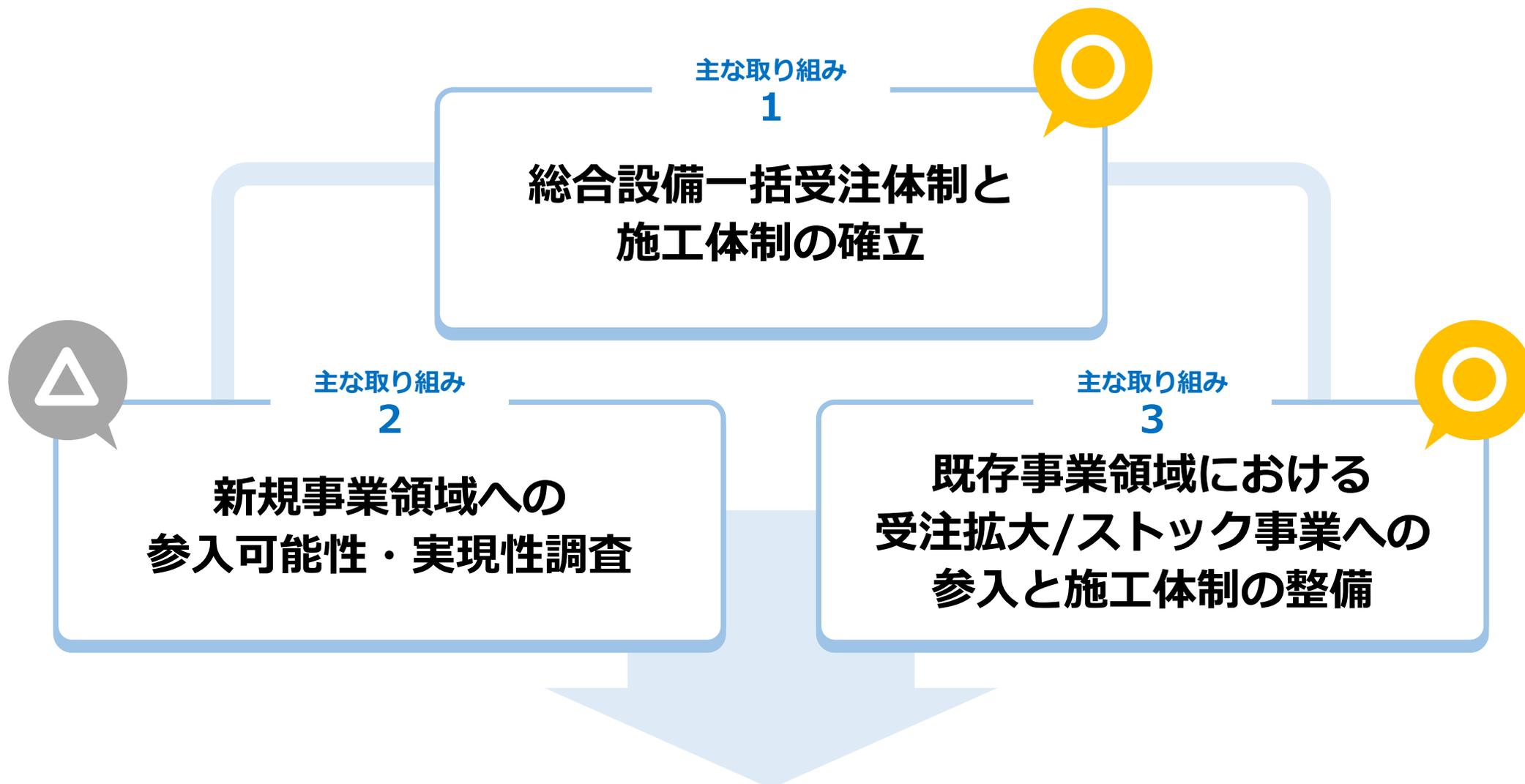
企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を重視。

3.0%以上の安定的な達成を目指す。

| (百万円) | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | | | | 2021年度 | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|------|-------|--------|--------|------|-------|
| | | | 中計 | 実績 | | 中計 | 実績 | | | |
| | | | | 額 | 中計比 | | 額 | 中計比 | | |
| 売上高 | 34,374 | 34,947 | 34,680 | 34,485 | ▲195 | ▲0.6% | 35,160 | 34,244 | ▲916 | ▲2.6% |
| 経常利益 | 1,103 | 1,312 | 1,130 | 1,588 | 458 | 40.5% | 1,158 | 1,403 | 245 | 21.2% |
| 経常利益率 | 3.2% | 3.8% | 3.3% | 4.6% | — | — | 3.3% | 4.1% | — | — |

- ガス設備事業では新型コロナウイルス感染拡大に伴う住宅着工戸数減少、建築設備事業では期中完成物件の受注を絞ったことにより、売上高は計画未達
- 一方、ガス導管維持管理事業の移転に伴う労務費・経費の減少と、委託業務費をはじめとした工事関連の経費抑制策の効果により計画を上回る経常利益を確保

前中期経営計画の振り返り③



課題が残った項目はあるものの、
真の総合設備工事会社としての成長可能性に手応え

前中期経営計画の振り返り②

主な取り組み1 総合設備一括受注体制と施工体制の確立

一括受注体制

- 既存顧客から総合的な受注ができるよう社内体制の見直しを実施し集合住宅向け一括受注件数は増加
- 戸建向けには、神奈川エリアで一定の成果

施工体制

- 受注量に応じた施工キャパシティの拡充と人材育成に課題

不足機能の獲得

- 総合設備工事会社化へ向けた電気工事・外構工事の機能拡充については、外構工事は2020年に参入し一定の実績を上げた一方、電気工事は資格・施工実績の積み上げが課題であることを把握、戸建住宅にフォーカスして施工実績を積み上げ中

主な取り組み2 新規事業領域への参入可能性・実現性調査

- 創エネ設備であるエネイースに、省エネ型ガス給湯設備エコジョーズ等をシステム連携した設備の拡販を狙ったものの、想定を大きく下回る販売実績
- 一方、エネイースを足掛かりに、他の機器工事の受注に結び付く成果

主な取り組み3 既存事業領域における受注拡大/ストック事業への参入と施工体制の整備

- 予算は未達も他エリアにおけるガス事業者からの受注は拡大しており、一定の手応え
- GHP※1のメンテナンス事業についてもメンテナンス関連売上・リピート売上も当初想定を上回る実績

※1) ガスヒートポンプエアコン/ガスを燃料とする空調システム

新中期経営計画策定の視点

自然災害の増加・激甚化に対するインフラ維持・早期復旧
ニーズの高まり

温暖化対策をはじめとする世界的な環境意識の高まり

人材の多様性の確保
尊重といった人権重視への対応

生活様式の見直し、DXの進展

東証市場構造改革、コーポレートガバナンスコード改訂

**サステナビリティを意識した
経営の必要性**

「STEP 2024」 (Sustainable Evolution Plan)

サステナビリティ基本方針

協和日成グループは、お客様に安心と心地よさを提供し、豊かな未来のためにライフラインを支えるという事業活動を通じて、社会的存在価値及び企業価値の増大を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

5つの重要施策

事業戦略

株主還元の
強化

CSRの
推進

筋肉質な
企業体質作り

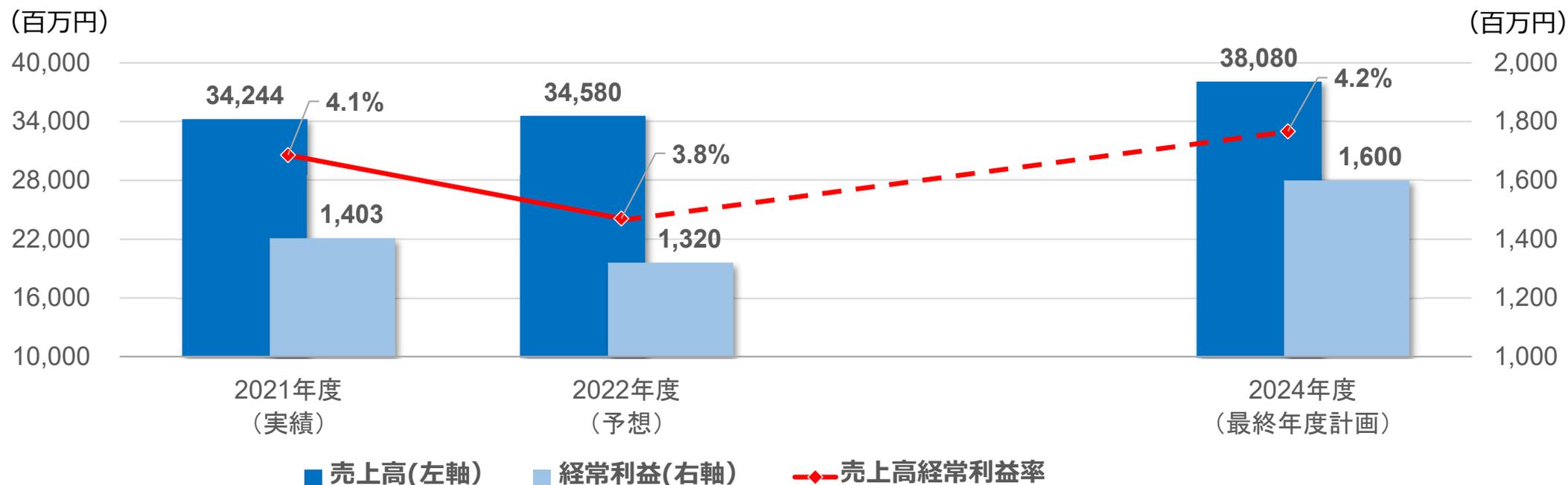
経営基盤
強化

売上・利益計画

(i) 全社

目標とする経営指標

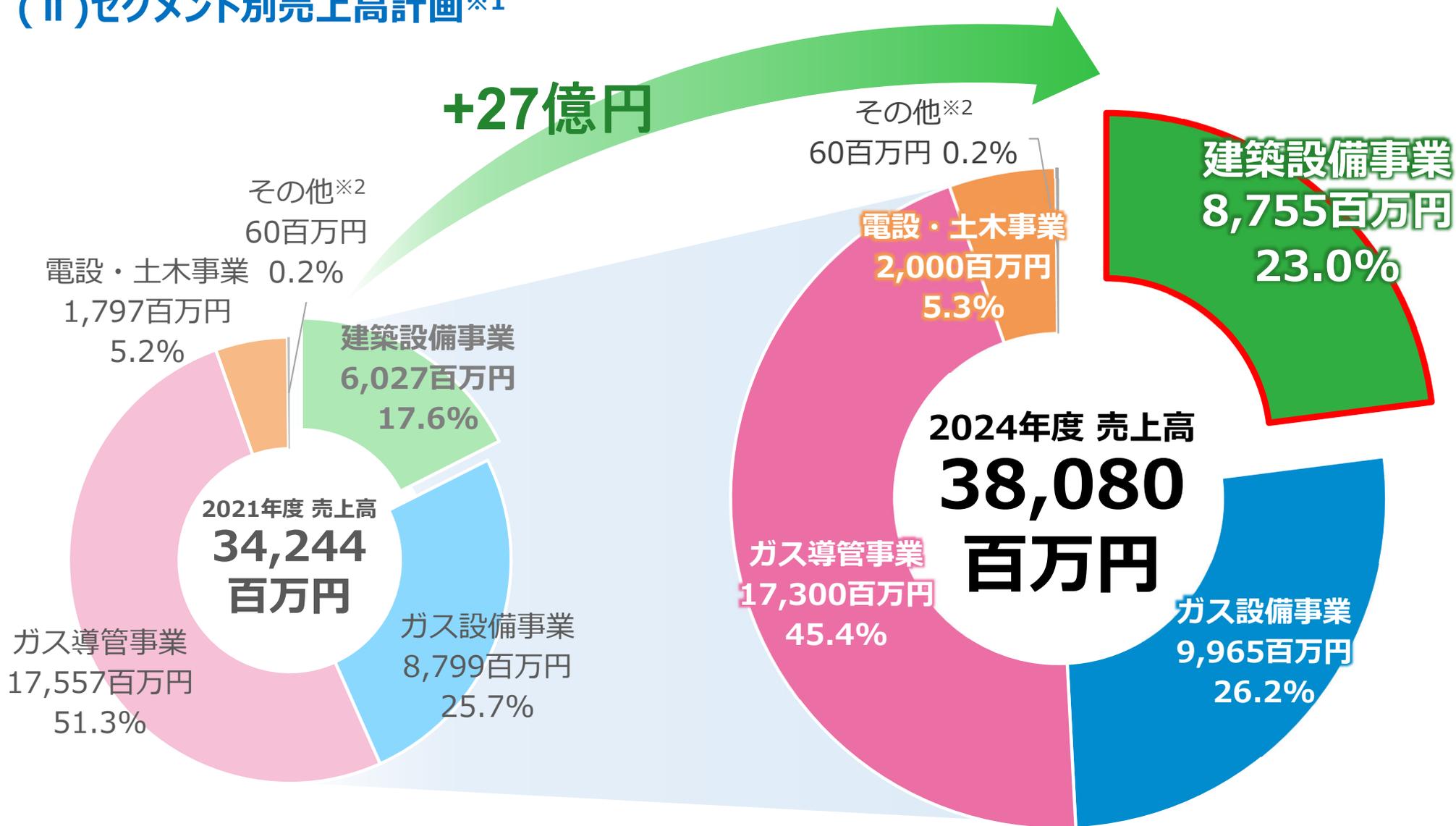
企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を重視。
中計最終年度**4.0%**の達成を目指す。



- 2022年度から2023年度にかけて設備の更新投資、人材に対する先行投資等が重なるため、この間の売上高経常利益率は低下する見通し
- 2024年度には収益力の向上により、このような費用を踏まえても4.0%以上の達成を目指す

売上・利益計画

(ii) セグメント別売上高計画※1



※1) 今期より、従来「ガス設備事業」に含めていた一部工種を「建築設備事業」の区分に含めることに変更しております

※2) 工材販売手数料等の表示区分調整額

1.事業戦略

(1) 各事業環境の見通し

建築設備事業

- 建設投資額は政府、民間合わせて微減
- 民間の大型マンションの着工件数が徐々に減少
- 首都圏エリア（東京ガスおよび周辺ガス事業者エリア）の戸建着工件数はほぼ横ばい
- 東京ガスエリアのGHP工事量は減少

ガス導管事業

- 2025年度にねずみ鋳鉄管入取替^{※2}完了予定
⇒他の管種の経年管取替工事^{※3}がメインに
- 2025年度まで工事量は安定的、それに付随した舗装工事関連もほぼ横ばい
- 東京ガスエリアの導管網の整備は進んでいるが、需要工事^{※4}については新規エリアで開拓に余地

ガス設備事業

- 首都圏エリアの戸建着工件数はほぼ横ばい
- 首都圏エリアのガス内管工事量は現状維持
- 戸建TES^{※1}採用率は減少

電設・土木事業

- 新設供給や設備改修による電力地中管路工事^{※5}は増加
- ゴルフ場設備老朽化に伴い部分改修ニーズは高まる
- 耐震化等に伴う水道管布設替工事^{※6}は堅調

※1) トウキョウガスエコシステムの略/東京ガス株式会社における、ガスを燃料とする温水によるセントラル暖房システム

※2) ねずみ鋳鉄を使用した管は、地震等の強い力が加わると損傷しやすいため、強度や管の伸びに優れた「ポリエチレン管」等への入取替工事のこと

※3) 土の中に埋められた小口径の亜鉛メッキ製ガス管から強度や管の伸びに優れた「ポリエチレン管」等への取替工事のこと

※4) 建物等の建設に際し、お客様からの要望によりガス導管が敷設されていないエリアに新規にガス導管を新設する工事。もしくはガス容量の不足に伴いガス管の口径を太い管に取り替える工事

※5) 地中送電線（ケーブル）を通すための管路埋設工事

※6) 古い水道管を新しく丈夫な水道管に取り替える工事のこと

1.事業戦略

(2) 事業戦略の基本方針

持続的に発展、成長するために、
既存の事業領域に加えて、「建築
設備事業」を中核事業の一つに育
てあげる。特に新築設備工事分野
に経営資源を重点投入する。

<建築設備事業の内容>

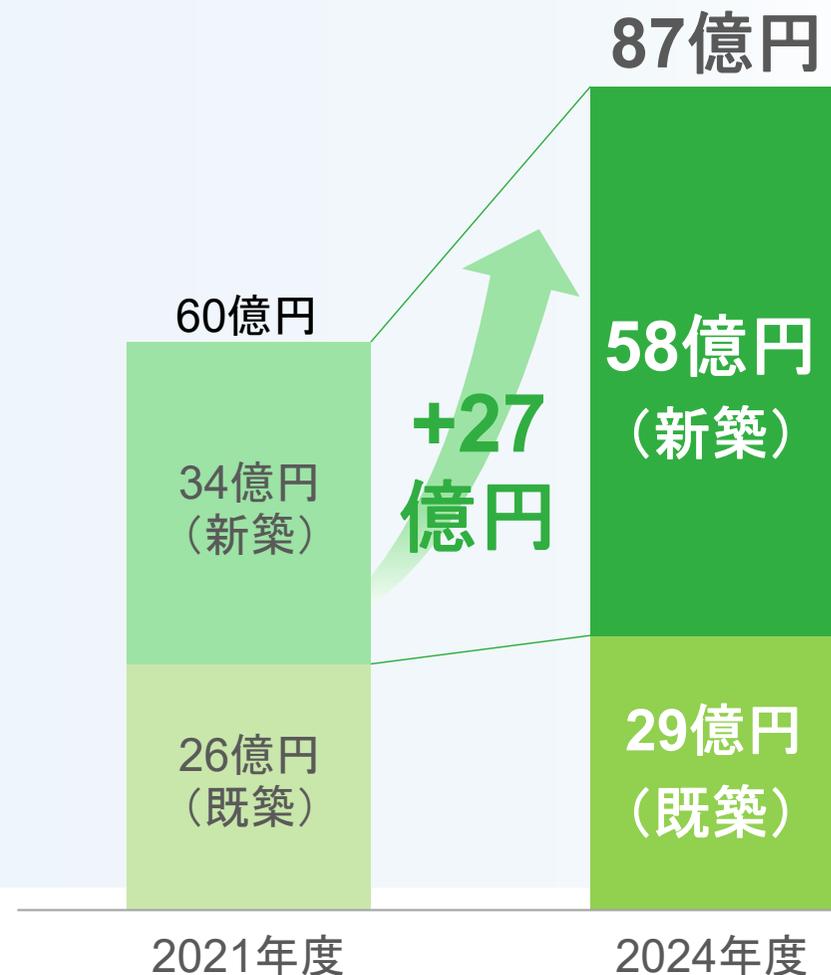
新築

- 新築マンション・施設系建物の給排水衛生設備・空調設備工事等
- 新築マンションの給湯・暖房工事
- 新築戸建住宅の給排水設備・電気工事

既築

- リノベーション工事（排水管更生工事を含む改修工事）
- 工場施設関連の営繕工事
- GHP工事

建築設備事業の売上計画



1.事業戦略

(i) 建築設備事業の成長余地に対する認識

一括受注・施工の顧客※1メリット

- 発注者は工事ごとに専門業者に発注していたが、当社が一括で受注できる体制を整えることにより、発注先における1社あたりの管理コスト（購買管理、現場管理など）を低減するとともに、窓口一本化による利便性が向上

競争優位性

- ガス工事に主軸を置く工事会社の中で、設備事業を含めた一括受注体制を志向している企業は少ない

対象マーケットの開拓余地

- 首都圏の当社ガス工事实績における、当社のガス工事以外の設備工事の実績（給排水衛生設備工事）は以下のとおりで、マーケットの開拓余地は充分ある
戸建着工件数（2021年）
当社ガス工事实績 約12,900件※2
設備工事实績 約1,000件（シェア率 8%）
集合着工戸数（2021年）
当社ガス工事实績 約12,500戸※2
設備工事实績 約700戸（シェア率 6%）

対象マーケットでの優位性

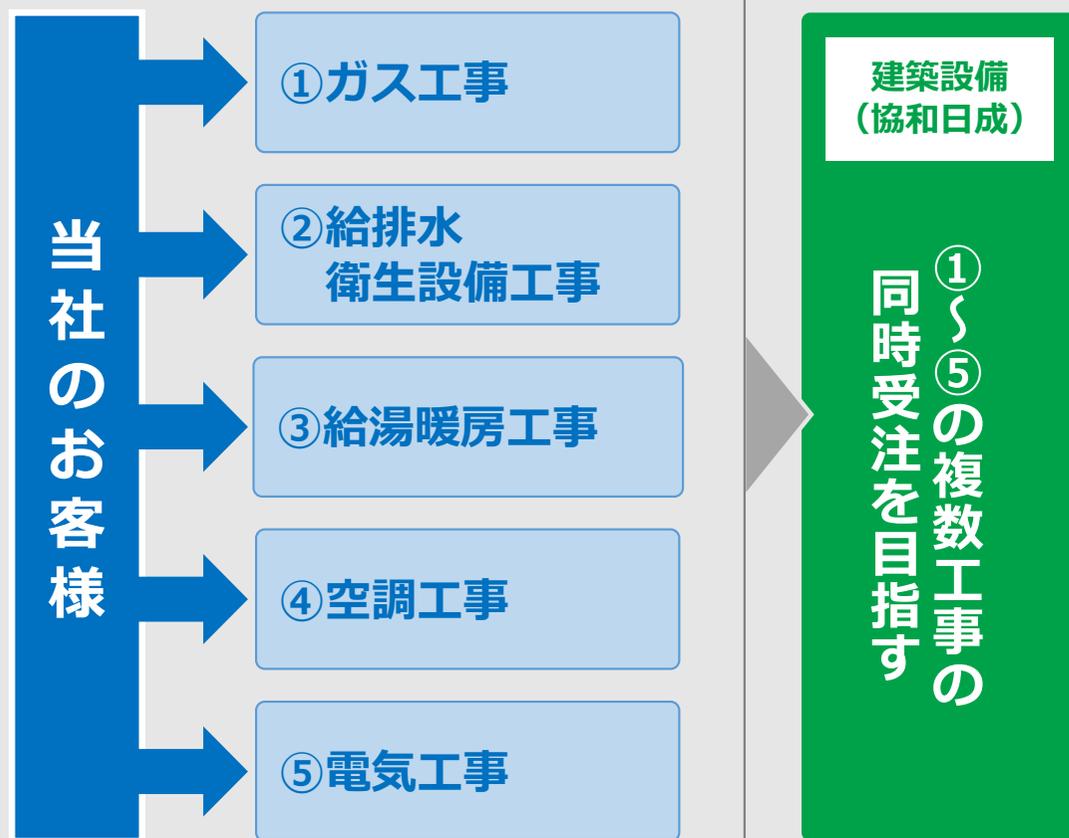
- 首都圏での戸建ガス工事はトップシェアを誇る
- ゼネコンから地場工務店まで、幅広い顧客チャネルを有する（P.40「当社の顧客チャネル」参照）

※1) デベロッパー、ゼネコン、サブコン、建設会社等（詳細はP.40「当社の顧客チャネル」を参照）

※2) 当社算出値

1.事業戦略

(ii) 建築設備事業成長に向けた取り組み



- 現状でも複数工事を受注しているが、施工体制を整えることで、複数工事の同時受注をさらに拡大する

一括受注体制に向けた施工体制の整備

- 施工管理者の育成
- 建物の構造別にチーム体制を整え、一人当たりの生産性を向上させる
- 建築設備工事に従事する施工管理者の増強

施工管理者数 (計画)



1.事業戦略

(iii) 建築設備事業以外の事業分野の取組方針

ガス設備事業

- 首都圏エリアの営業体制の強化、施工能力の維持・強化を同時に行い売上拡大を図る
- ITを活用し業務効率化によりさらなる品質向上を図る

ガス導管事業

- 将来の事業環境の変化を見据え、監督・施工班の多機能化を推進する
- ガス導管需要工事※1の受注強化を図る
- 監督・施工体制の強化により本管・内管・水道工事の受注量の確保と利益の増加を図る

電設・土木事業

- 激甚化する自然災害によりニーズが高まる電力・水道のインフラ整備や、ゴルフ場設備の自動化・省力化等のニーズに対し、多機能化や業務分散、デジタル技術の活用による工事品質の向上を図る

※1) 建物等の建設に際し、お客様からの要望によりガス導管が敷設されていないエリアに新規にガス導管を新設する工事。もしくはガス容量の不足に伴いガス管の口径を太い管に取り替える工事

2.株主還元の強化

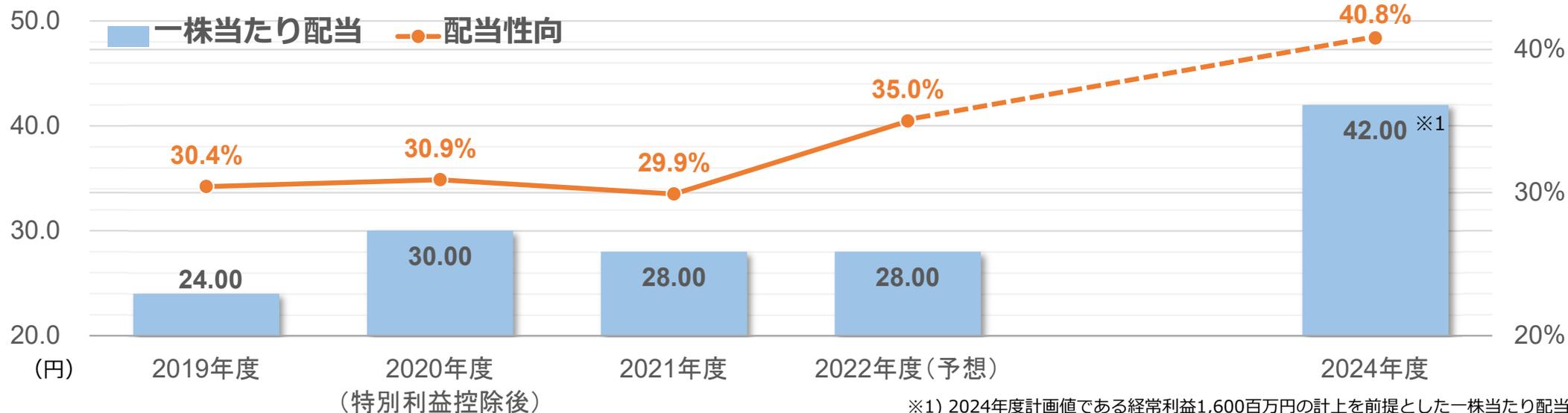
配当方針

従来（2019年12月以降）

- 経営基盤の強化に留意しつつ、当期の業績ならびに経営環境や今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案し、長期的かつ安定的な配当を維持・向上することを基本とする
- 業績に応じた配当を検討する上で、配当性向30%を目標とする
- 非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある

今中期経営計画期間中（2022～2024年度）

- 経営基盤の強化に留意しつつ、当期の業績ならびに経営環境や今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案し、長期的かつ安定的な配当を維持・向上することを基本とする
 - 業績に応じた配当を検討する上で、2024年度に配当性向40%を達成することを目標に、30%からの引き上げを図る
 - 非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある
- (2022年5月16日公表)



※1) 2024年度計画値である経常利益1,600百万円の計上を前提とした一株当たり配当額

3.CSRの推進

取り組み内容

目標

E

- a. 環境商材の拡販
- b. ガソリン車、ディーゼル車以外の車両導入検討、車両のCO2排出量、電気使用量を分析

- a. 2025/3月期 環境商材^{※1}500台/年を目指す
- b. 2025/3月期 CO2排出量10%削減（2022/3比）
2022/3 CO2排出量実績約174万kg

S

- a. 多様な働き方の実現（働きがいのある職場環境）
- b. CSR調達制度の導入（2022年4月）

- a. 男性主体業務への女性配員数の拡大（2021/3比40%増）を折り込んだ行動計画の策定、育児休業法改正に伴う制度整備
- b. CSR調達方針・ガイドラインの調達先との共有、アンケート等による現状把握と改善指導を実施し、グループとして社会的責任を果たす体制を作り上げる

G

- a. コーポレートガバナンス・コード（CGC）への対応
- b. コンプライアンスの推進

- a. エクスプレイン項目（役員評価、評価に基づく報酬制度、選解任基準の策定、任意の指名・報酬委員会の設置ほか）、次期改訂CGCへの対応
- b. 年1度実施している全社的統制評価アンケートにおけるコンプライアンス関連の各指標5%改善

※1) エネファーム、ハイブリット給湯器、太陽光発電、蓄電池

4.筋肉質な企業体質作り

| | 取り組み内容 | 目標 |
|------|--|---|
| 全社 | <p>業務改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none">● 現場監督（施工）・営業・事務関連等、既存業務の内容・量を見える化し、ワークフローの見直しやデジタル技術の導入等で業務の効率化を図る <p>リモートワーク環境の構築強化</p> <ul style="list-style-type: none">● セキュリティ等、システム・インフラの強化、およびルールの整備 <p>基幹システムの刷新</p> <ul style="list-style-type: none">● 業務処理効率向上● 法改正への対応 | <ul style="list-style-type: none">● ITを積極的に活用し、ワークフローの見直しを行うことで生産性の向上を図る |
| 部門固有 | <p>ガス導管事業</p> <ul style="list-style-type: none">● 本部内にCADセンターを設置し、内製化を図り委託業務費を削減 <p>ガス導管事業/電設・土木事業</p> <ul style="list-style-type: none">● ウェアラブルカメラを用いて、業務効率化の推進 | <ul style="list-style-type: none">● 委託業務費の削減● 2024年度 ウェアラブルカメラでの現場巡回率50%達成 |

5.経営基盤強化

| | 取り組み内容 | 目標 |
|-------------------|--|--|
| リスク管理 | ① 経営に重大な影響を与えるリスクの適時適切な見直しと対応策の検討 | ① 適切なリスクテイクと統制の枠組みの有効性について継続的な検証を行い、企業価値の増大に繋げていく |
| 安全・品質の向上 | ① ITを活用した業務効率化による品質向上の推進 ② 施工体制基盤の維持強化 ③ 安全、品質管理の徹底 | ① 高品質なガス・機器工事の提供 ② 自主検査制度 ^{※1} の維持強化による高品質な製品の提供 ③ QPマネジメントシステム ^{※2} の深化・高度化、独自評価基準の策定（2022年度） |
| 戦略的M&Aの実施 | ① M&Aを視野に入れた施工体制の検討 | ① 事業領域拡大のため、協力会社の確保 |
| 従業員の心と身体の健康づくり | ① 従業員の「心と身体の健康づくり計画」の実施 | ① 「金の認定 ^{※3} 」の取得を目指す |
| 人材の多機能化と育成 | ① 人材育成を目的とした教育のサポート実施 ② 部門を問わず、多機能化のための教育・人事ローテーション ③ ベテラン社員による若手の育成 | ① 資格取得者の増加 ② 多機能化計画の立案と実施 ③ 若手社員の育成・技術力の伝承等 |
| 東証市場構造改革を踏まえた取り組み | ① 流通株式比率向上へ向けた施策の検討 ② 継続的なIR活動 | ①～② スタンダード市場上場維持基準充足を盤石なものとする |

※1) 当社の自主検査員が各営業所の現場を巡回し、安全・品質に関して改善指導を行う仕組み（ウェアラブルカメラでの巡回含む）

※2) ISO9001を基にした当社独自の品質マネジメントシステム。QP：クオリティ・プラス/「さらなる品質向上を図る」という意味

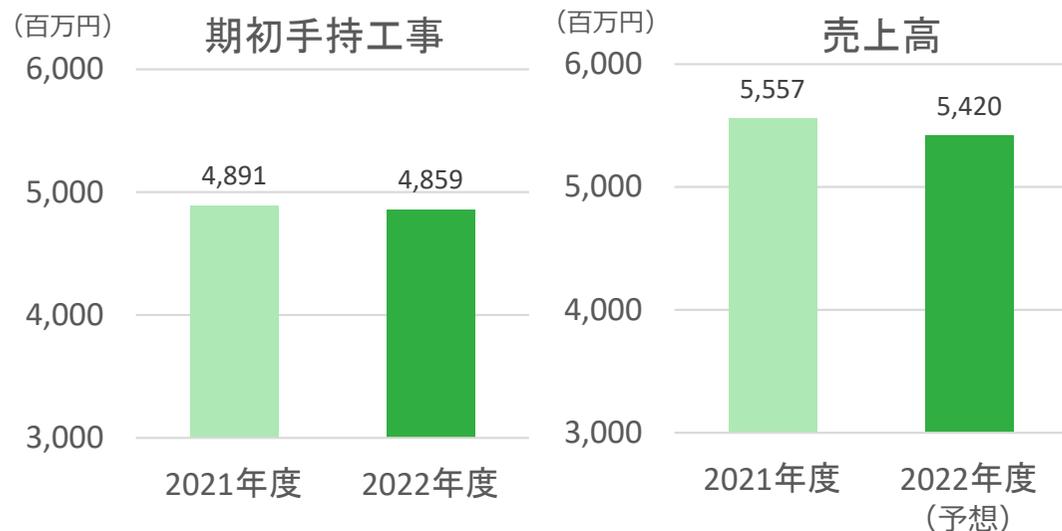
※3) 健康優良企業認定制度のステップ2。当社は2020年に、健康保険組合連合会東京連合会より、ファーストステップである「銀の認定」を取得

3. 2022年度（2023年3月期） 業績見通し

Keep the Lifeline.

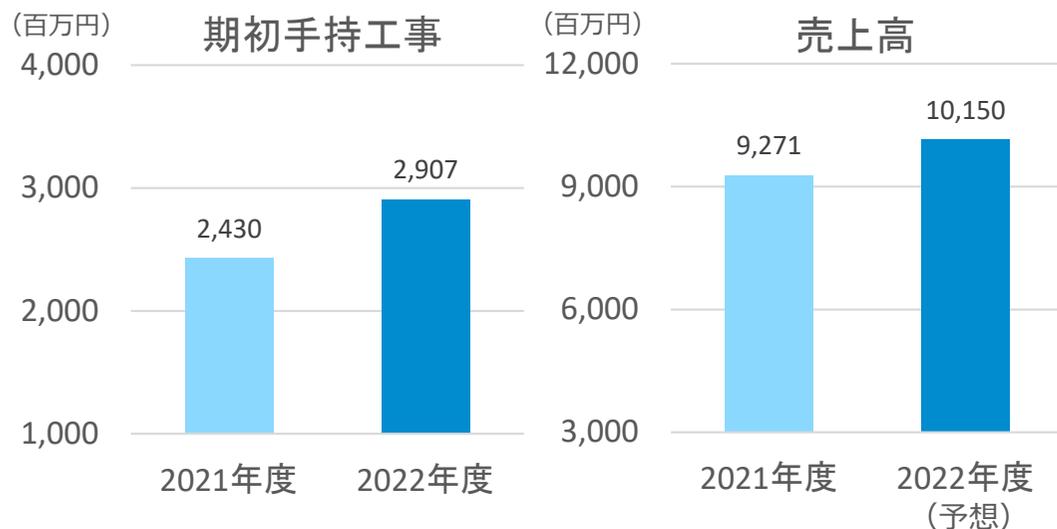
事業環境の見通し

【建築設備事業】※1



- 新築建物の給排水衛生設備工事は主要顧客からの受注が堅調
- 顧客企業の各工場における設備投資、集合住宅給湯・暖房工事の受注は堅調
- 東京都公立学校屋内体育施設空調設置支援事業終了に伴いGHP工事受注は大幅減

【ガス設備事業】※1

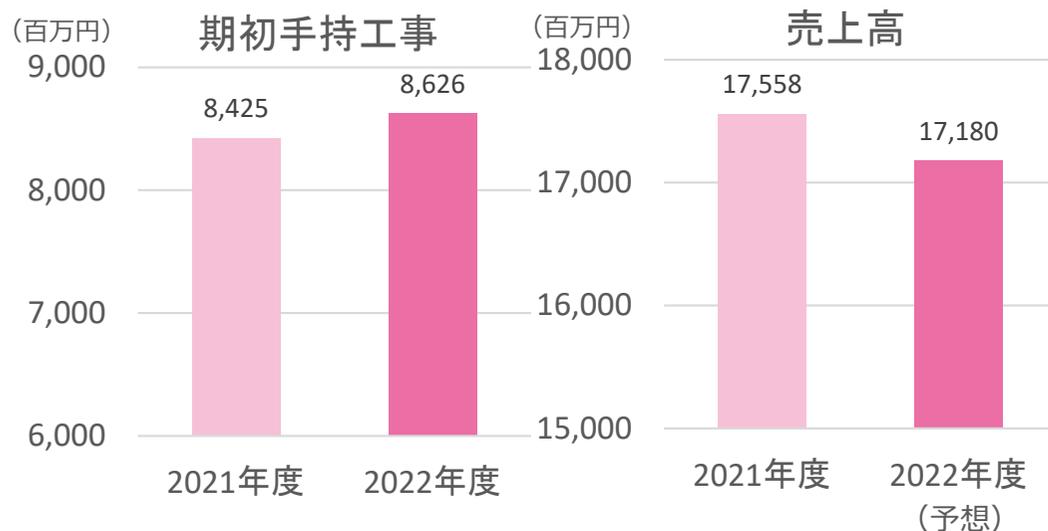


- 期初手持工事の大幅増加
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による落ち込みの反動と住環境の見直しにより、首都圏の住宅着工戸数は横ばいを予想
- リフォーム・リノベーション市場も堅調に推移

※1) 2023年3月期よりガス設備事業に含めていた一部工種について建築設備事業に移管したため、以前の事業年度の数値を変更後の区分に組み替えています。

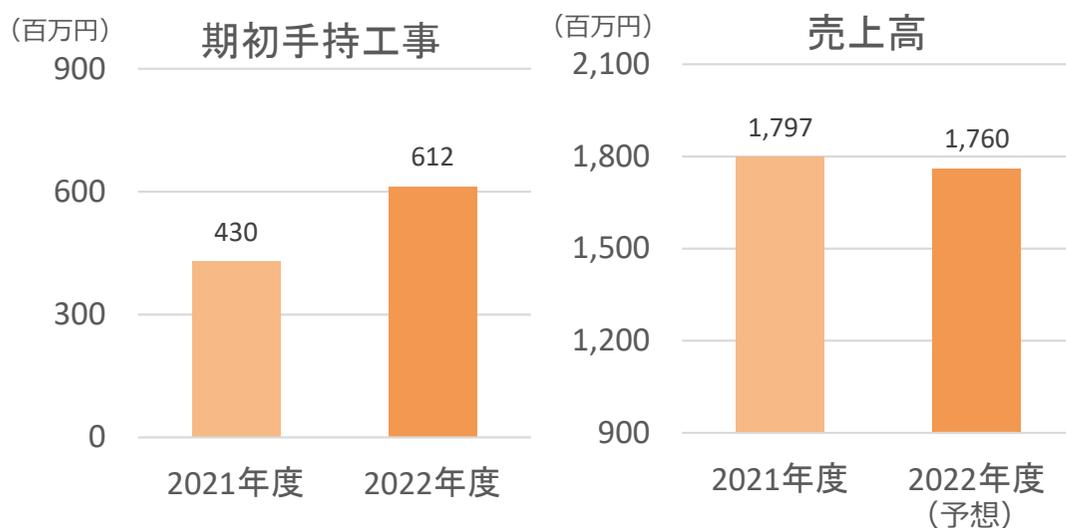
事業環境の見通し

【ガス導管事業】



- 早期発注により期初手持工事の増加
- 各ガス事業者の設備投資計画は引き続き堅調に推移
- 「電力・ガス小売り自由化」の進展による工事発注方式の変更は懸念点

【電設・土木事業】



- 期初手持工事の増加
- 東京電力パワーグリッド(株)の設備投資計画では、徹底したコスト管理施策により引き続き厳しい受注環境が継続するも、都心の再開発事業や、物流センター等の建設需要が旺盛で受注量は堅調
- イリゲーション工事は、ゴルフ場の集客数の回復とコースや施設への設備投資が期待され、受注は堅調

損益の見通しおよび配当予想

| (百万円) | 2021年度 | 2022年度 予想 | 前期比 | |
|--------------------|----------------|----------------|----------------|--------|
| | | | (金額) | (%) |
| 売上高 | 34,244 | 34,580 | +336 | +1.0% |
| 営業利益 | 1,259 | 1,140 | ▲119 | ▲9.5% |
| 経常利益 | 1,403 | 1,320 | ▲83 | ▲5.9% |
| 当期純利益 | 1,078 | 920 | ▲158 | ▲14.7% |
| 一株当たり配当金 (配当性向) | 28円 (29.9%) | 28円 (35.0%) | ±0 (+5.1pt) | — |
| 【参考】 期初手持工事高 | 16,178 | 17,006 | +828 | +5.1% |

- 経済活動の回復に伴い営業活動を活発に実施するため、経費の増加を見込む他、将来を見据えた人材投資、システム関連費用、拠点更新費用等により減益となる見通し

事業戦略



建築設備事業 来年度以降業績を伸ばしていくための体制整備

- 建物種別毎にチーム制を導入し、チーム内で繁閑を調整
- 施工キャパシティを踏まえた効率的な受注活動を推進するためのシステムを導入・活用

ガス設備事業 戸建住宅における給排水衛生工事の強化

- 神奈川エリアの戸建給排水設備工事を拡大、他エリアでの参入準備

ガス導管事業/電設・土木事業

- ガス導管監督とガス導管施工班の多機能化を推進
- 将来のガス導管工事の需要減を見据えた機動的な施工体制の構築

筋肉質な 企業体質づくり



デジタルイノベーション推進

- 専任部門を設置し、デジタル技術による業務改革計画の策定、リモートワーク環境の構築強化を図る

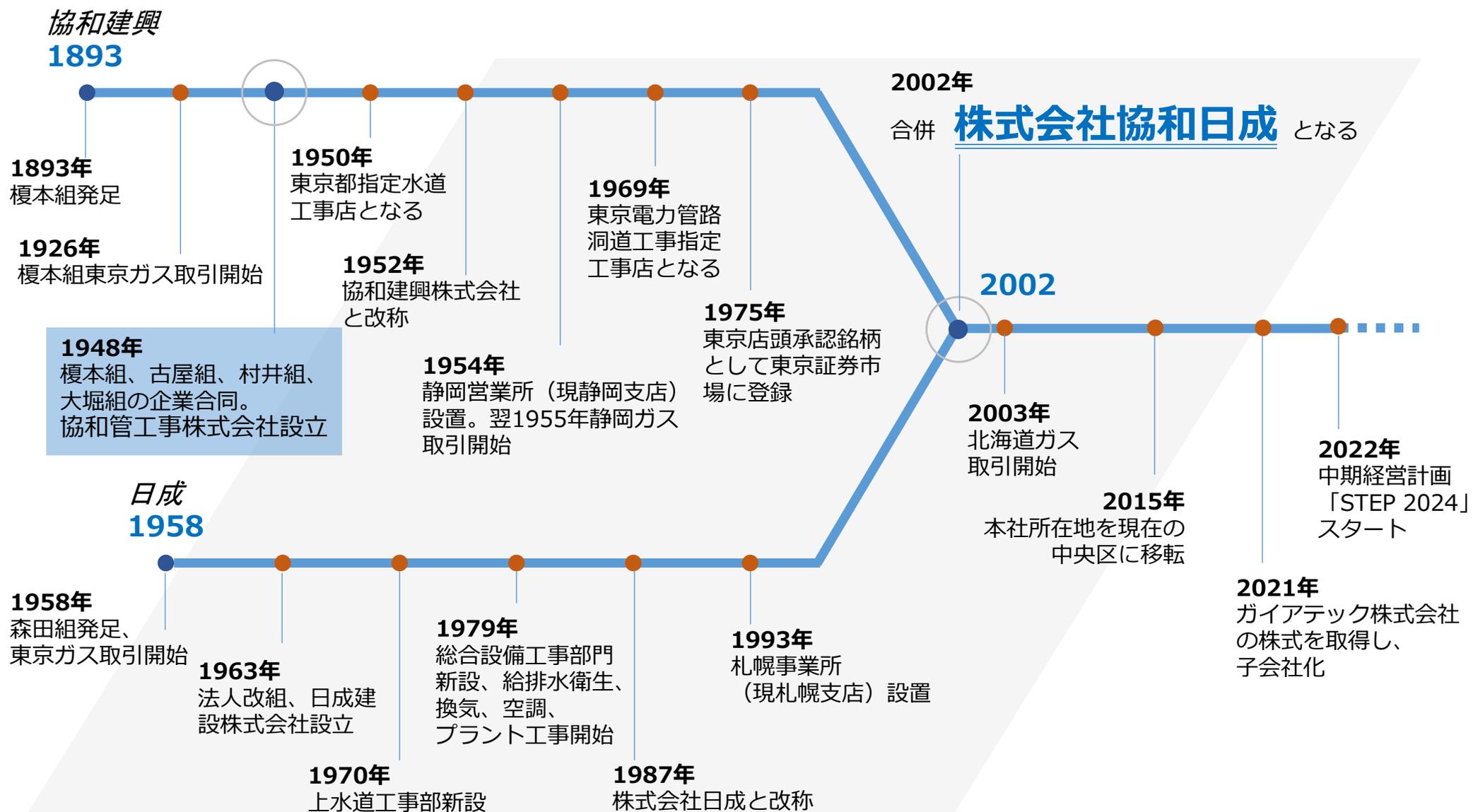
4. ご参考資料

Keep the Lifeline.

会社概要

| | |
|--------|---------------------------|
| 商号 | 株式会社協和日成 |
| 設立 | 1948年（昭和23年）9月15日 |
| 所在地 | 〒104-0042 東京都中央区入船3-8-5 |
| 資本金 | 5億9千万円 |
| 株式 | 東京証券取引所スタンダード市場〈コード:1981〉 |
| 代表者 | 代表取締役社長 川野 茂 |
| 従業員数 | 777名（2022年3月31日現在） |
| 売上高 | 342億円（2021年度） |
| グループ会社 | 3社（2022年3月31日現在） |

当社のあゆみ



企業スローガン/企業理念/企業ビジョン

企業スローガン

私たちは常に進化する強い意志を持ち、
心一つにして一流に向かい羽ばたき続けます。

企業理念

存在意義

豊かな暮らしのために

経営姿勢

お客様から選ばれ
続けるために

行動規範

羽ばたき続けるために

企業ビジョン

たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力でサービスを
提供する**真の総合設備工事会社**を目指します。

クオリティマネジメント

「ライフラインを支える」という使命のもと、品質、安全、環境、コンプライアンスを守ることを何よりも優先し、お客さまの信頼を築いていきたいと考えています。

品質管理

お客さまの満足が、私たちの喜びです。

安心・安全

安全第一主義で安心をお届けします。

環境への取組み

人に地球に、もっと優しく。

コンプライアンス

誠実で、風通しのよい企業に。

事業内容 ①ガス設備事業について 1/2

ガス設備事業

主な活躍場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

ガス設備工事



戸建イメージ

■ = ガスの配管



コンロ 点火試験



給湯器

ガスメーター



ガス管土中埋設配管



事業内容 ① ガス設備事業について 2/2

ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

暖房給湯・ 空調設備工事

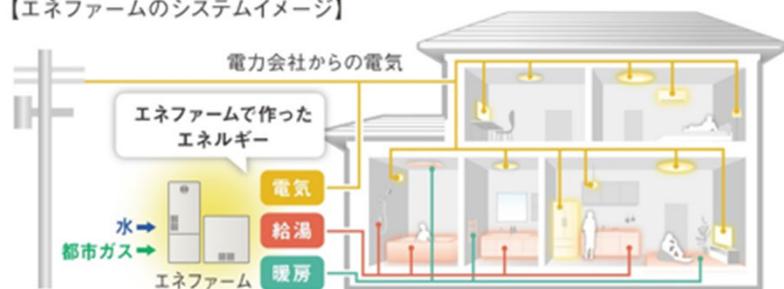
戸建住宅から超高層住宅TES(TOKYO GAS ECO SYSTEM/ガス給湯暖房)工事。GHP (ガスヒートポンプエアコン) をはじめとした空調設備工事。



エネファーム
(家庭用燃料電池
コージェネレーションシステム)



【エネファームのシステムイメージ】



床暖房 (TES)



乾太くん (ガス衣類乾燥機)



太陽電池・燃料電池・蓄電池 システム工事

省エネ機器、発電、蓄電およびシステム制御。住宅、小規模施設の発電、蓄電池等のシステム設計。災害時の停電対策に関する設備の提案・設計・施工・メンテナンスまで。



エネイース:
太陽光発電+蓄電池



事業内容 ② 建築設備事業について

建築設備事業

主な活躍場所

集合住宅

工場

学校・福祉施設

商業施設

<集合住宅における施工範囲>

- 給水... ●—● 給湯... ▲—▲
 - 床暖... ○—○ 排水... ●—●
 - 換気... ◆—◆ 空調... —
 - 消火... —
 - ガス... ■—■
- (当社ガス設備事業が施工)

キッチン



シンク下



風呂・洗面所



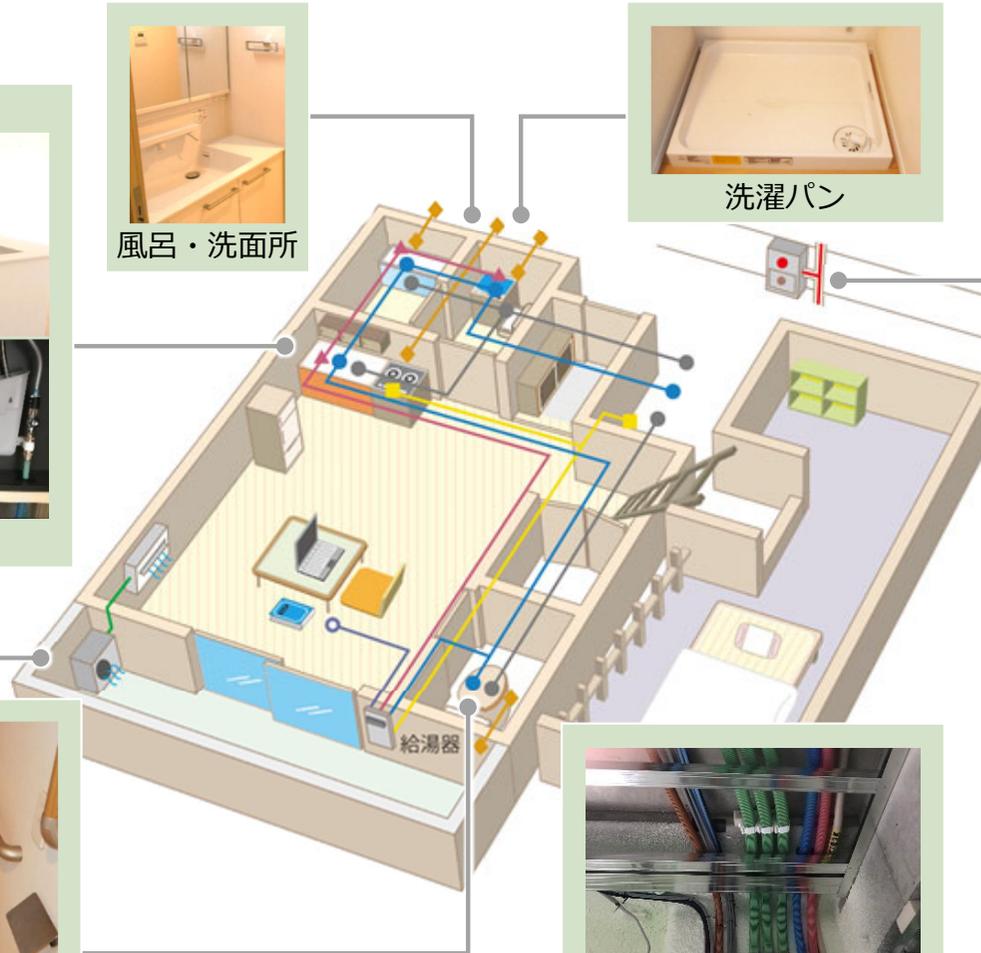
洗濯パン



消火栓



給湯器



【その他の設備工事】

厨房設備工事、
工場プラント工事

【メンテナンス】

集合住宅の給排水管の耐用年数をアップさせる
工事。

給水管
⇒ NPL-Ⅲ工法

排水管
⇒ DREAM工法

樹脂でコーティング ▶



エアコン・室外機



トイレ



天井裏の配管

事業内容 ③ ガス導管事業について

ガス導管事業

主な施工場所

地中

ガス導管工事

ガス管の漏洩防止と耐震化：

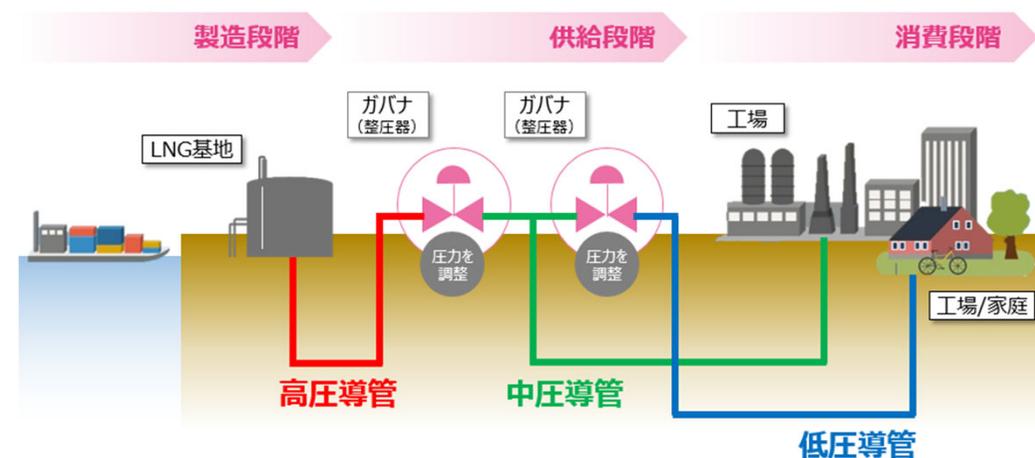
土中の水分で腐食せず、地震に強い柔軟性のあるポリエチレン管に入れ替える工事

ポリエチレン管は
ひっぱり強く、地震に強い

※ガス導管が届いていないお客様の敷地まで導管を埋設する工事である“**ガス管の延伸**”もおこなう。



<ガスが届くまで>



メンテナンス

ガス導管修理工事

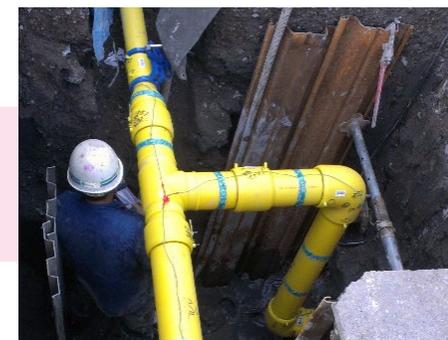
ガスの本管・支管に関わる修理工事

ガス漏れ緊急出動

ガスの本管・支管に発生するガス漏れに関わる緊急調査・修理。24時間365日、出動に備えて待機しています。



大口径導管溶接工事



導管分岐部工事

事業内容 ④ 電設・土木事業について

電設・土木事業

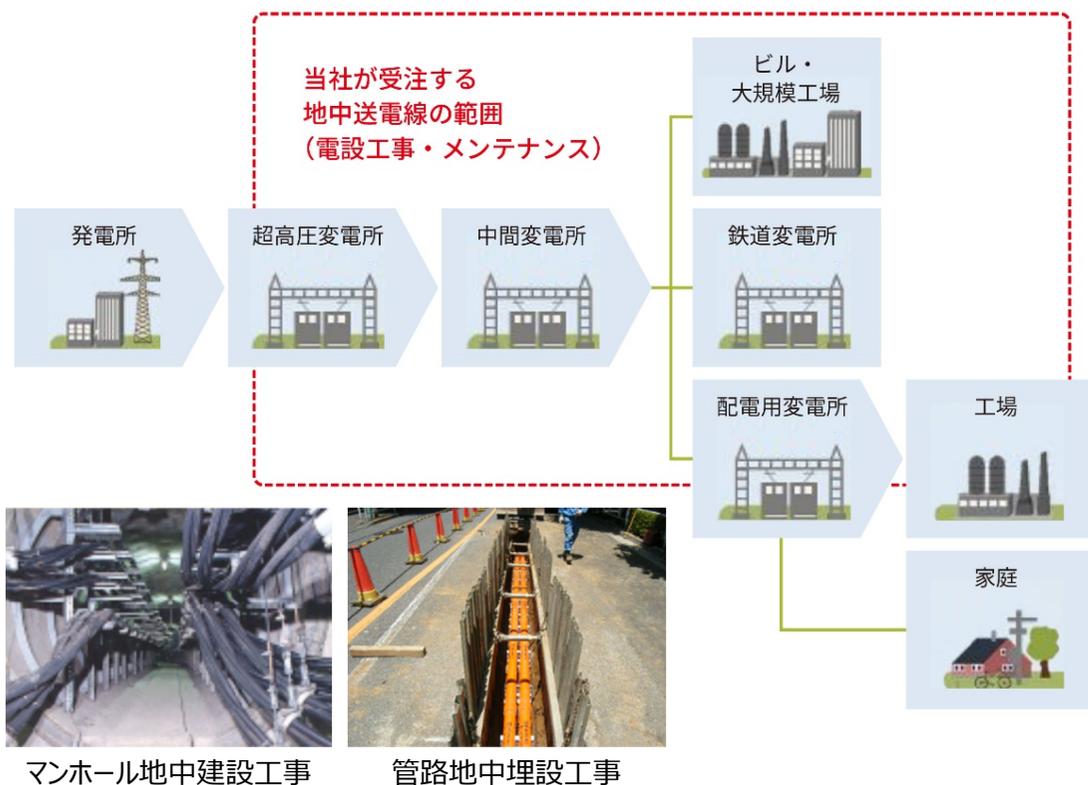
主な施工場所

地中

ゴルフ場

電設工事・メンテナンス

地中送電線を通すための管路埋設工事、およびマンホールの地中建設工事、点検・補修工事。



一般土木工事

上水道工事、道路舗装工事 など



上水道入替工事



道路舗装工事

イリゲーション工事

ゴルフ場の散水設備、クラブハウスの設備工事



ゴルフ場コース



スプリンクラー取替工事

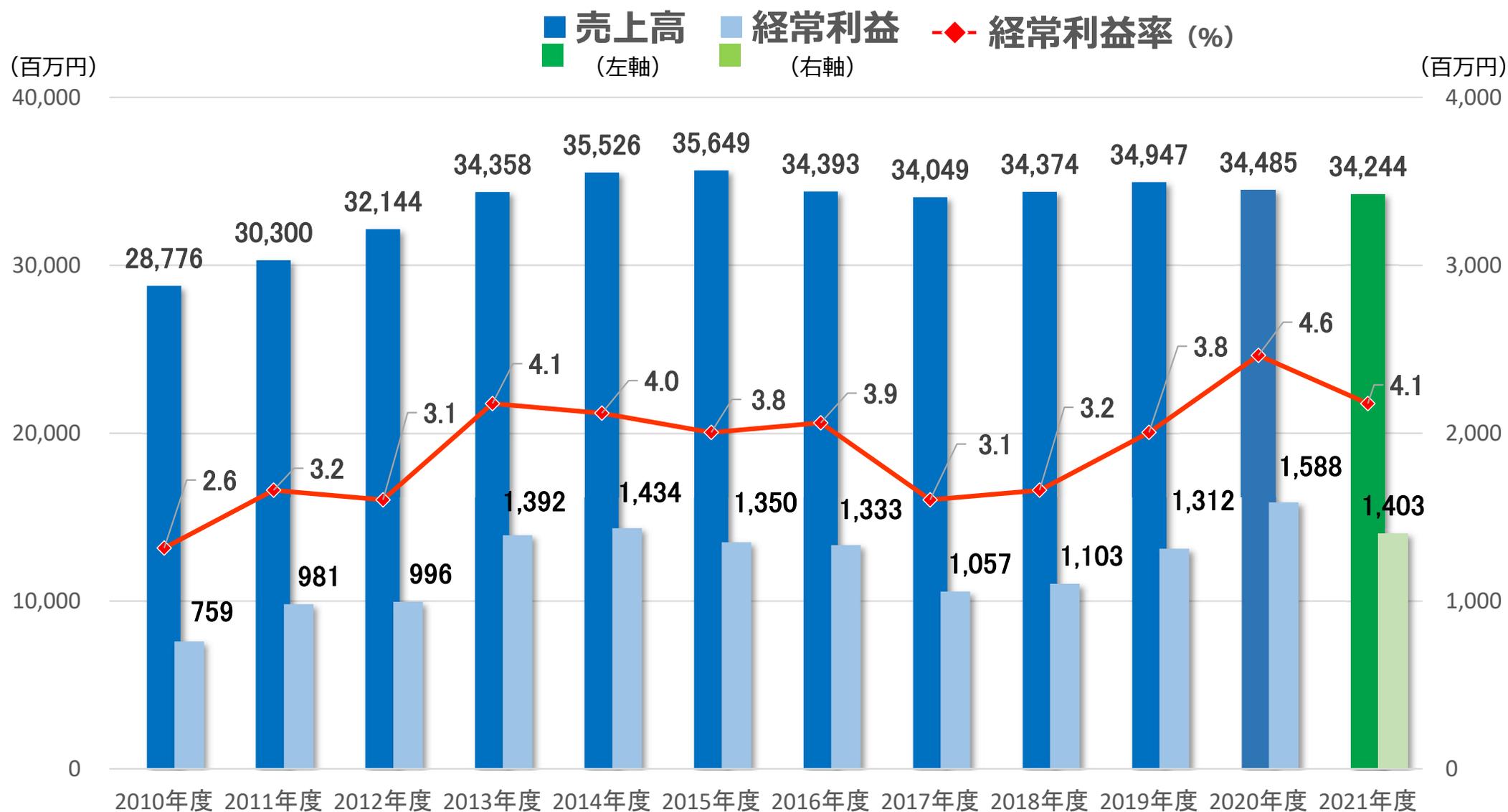


クラブハウス浴室シャワー水栓取替工事

当社の顧客チャネル



当社のあゆみ ～12か年業績推移～



ご注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先
株式会社協和日成 企画室
電話 : 03-6328-5662
メール : ir@kyowa-nissei.co.jp